

新総合計画策定に係る市民アンケート調査 報告書(概要版)

1)調査の目的

本調査は、新たな総合計画における「まちづくりの基本理念・将来像」及び「まちづくりの目標」を策定する上で不可欠な、「小田原の都市イメージ・魅力・課題」、「地域活動への参加意欲」等に係る市民意識の把握を目的とします。

2)調査の方法

[実施期間]

平成20年9月中旬から11月中旬まで（配架及びWEBは、10月31日まで）

[調査内容]

本調査は、市民の生の声を幅広く聞くために、選択肢を示した定量調査とするのではなく、自由記述(テキストデータ)による定性調査(問5~8)を主としています。

[調査方法]

サンプル数の確保と世代の偏りを防ぐため、無作為抽出・郵送による方法とはならず、学校や各種団体等を対象として配布・回収しました。加えて、公共施設へのアンケート用紙の配架、本市ホームページ上のWEBアンケートも活用し、幅広く意見を求めました。

[配布数・回収数]

学校や各種団体等に7,030のアンケート用紙を配布し、4,401枚(配架及びWEBによる97件を含む)を回収しました。回収率は62.6%で、無作為抽出による郵送アンケートと比較しても高い回収率となっています。

3)テキストデータ分析の概要

[分析対象]

テキストデータ分析の対象は、自由記述(テキストデータ)の設問のうち、問5~8とします。

[分析方法]

自由記述の設問(問5~8)に対する回答の総文書数は、26,684件となっています。ここでは、テキストデータ(文書)を単語(249,674語)に分割し、その出現頻度や相関関係などをデータマイニングの手法を使って解析することで一定の見知や発想を得るテキストマイニング手法により分析します。分析には、立命館大学産業社会学部准教授樋口耕一氏が提供している、テキスト型データを計量的に分析するためのソフトウェア「KH Corder (Version 2.bate.18)」を使用します。

なお、問5については、良いイメージと悪いイメージが混在するため、これらを分けて分析します。

[分析の留意点]

回答者の属性整理では、女性の割合が多いこと、20~40歳代が多い一方、50歳代~が少ないことが明らかになっています。本調査では、本市の人口実態に近づける補正は行わないことから、こうした属性状況を前提とした分析結果であることに留意する必要があります。

4)問い合わせ先

小田原市 企画部 企画政策課 総合計画班 TEL 0465-33-1255

【 回答者の属性整理 】

問 1 (N=4,401) [図表-1]

回答		回答数	割合 (%)
市内に居住	①	1,582	35.0
市内に通勤	②	701	16.2
市内に通学	③	438	10.1
市内に居住・通勤	①②	1,502	34.6
市内に居住・通学	①③	159	3.7
市内に通勤・通学	②③	3	0.1
市内に居住・通勤・通学	①②③	9	0.2
無回答	—	7	0.2



無回答を除く場合	割合 (%)
市内居住者	74.0
市外居住者	25.9

問 2 (N=4,401) [図表-2]

回答		回答数	割合 (%)
男性	①	1,708	38.9
女性	②	2,669	60.5
無回答	—	24	0.6



H17 国勢調査	割合 (%)
男性	49.1
女性	50.9

問 3 (N=4,401) [図表-3]

回答		回答数	割合 (%)
10 歳代	①	415	9.6
20 歳代	②	870	20.1
30 歳代	③	1,041	23.5
40 歳代	④	864	19.3
50 歳代	⑤	495	11.3
60 歳代	⑥	365	8.4
70 歳代	⑦	253	5.6
80 歳代以上	⑧	80	1.8
無回答	—	18	0.4



H17 国勢調査	割合 (%)
10 歳代	9.8
20 歳代	11.6
30 歳代	14.8
40 歳代	12.7
50 歳代	15.1
60 歳代	13.1
70 歳代	9.2
80 歳代以上	4.7

問 4 (N=4,401) [図表-4]

回答		回答数	割合 (%)
1 年未満	①	113	2.6
1 年以上 5 年未満	②	387	8.8
5 年以上 10 年未満	③	321	7.3
10 年以上 20 年未満	④	561	12.6
20 年以上	⑤	1,871	42.1
無回答	—	1,148	26.5



無回答を除く場合	割合 (%)
1 年未満	3.5
1 年以上 5 年未満	11.9
5 年以上 10 年未満	9.9
10 年以上 20 年未満	17.2
20 年以上	57.5

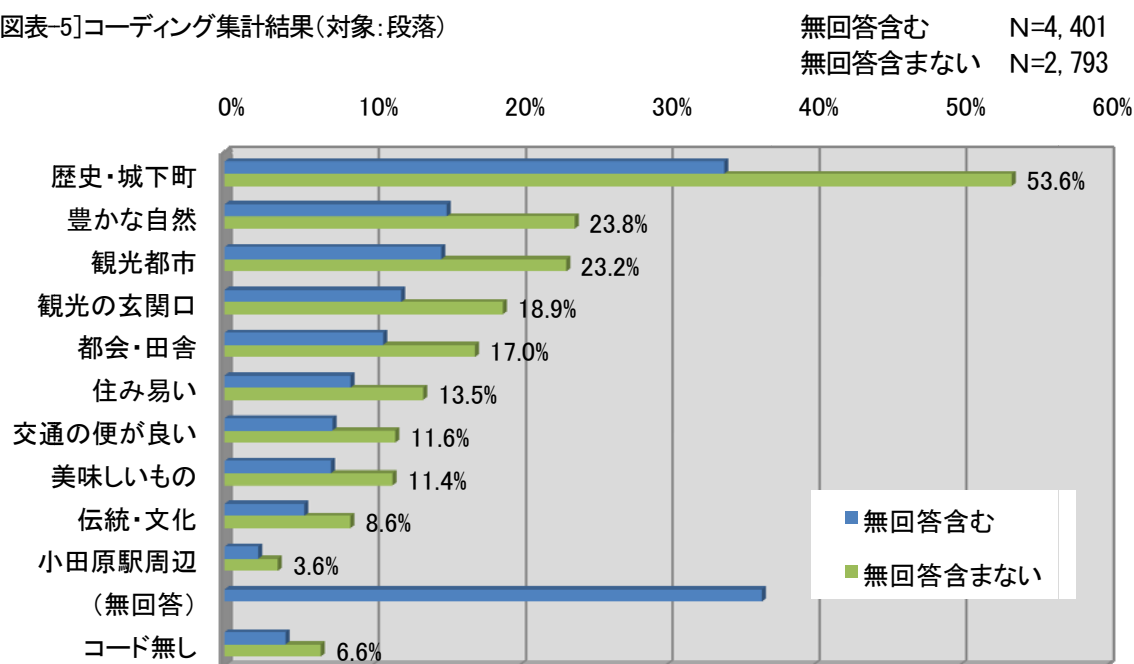
問 5 現在の小田原についてどのような都市イメージを抱いていますか、箇条書きでご自由にお書きください(良いイメージを抽出)

- ・ 出現数が多い言葉は、「城下町」(834 回)や「歴史」(567 回)、「小田原城」・「城」(計 458 回)で、「小田原城を中心とした歴史ある城下町」が都市イメージとして最も多く記述されていることが伺えます。また、「海」(313 回)、「自然」(264 回)、「気候」(102 回)といった自然環境に係わる言葉も多く、「豊かな自然(海・山・川)に恵まれた街」も都市イメージとして多く記述されていることが伺えます。
- ・ 出現数が多い言葉の関係性を整理すると、「歴史-城下町」、「豊か-自然」、「観光都市」、「箱根-玄関口」、「都会-田舎」、「住む-易い」、「かまぼこ-有名」、「交通-便利」となっています。
- ・ 出現数が多い言葉から、回答を代表する文書を整理すると次のようになります。

- 小田原城を中心とした歴史ある城下町
- 豊かな自然（海・山・川）に恵まれた街
- 外国人をはじめ多くの観光客が訪れる観光都市
- 温泉や観光地に近く、箱根や伊豆の玄関口
- 都会でも田舎でもない街
- 温暖な気候で住み易い街
- 新幹線が停まり都心に近く、交通の便が良い街
- 魚が美味しく、かまぼこが有名な街
- 伝統と文化を大切にし、古いものと新しいものがある街
- 小田原駅及びその周辺

- ・ 「歴史・城下町」が回答者ベースで、53.6%と突出して多く記述されています。次いで、「豊かな自然」、「観光都市」が20%を越えています。

[図表-5]コーディング集計結果(対象:段落)

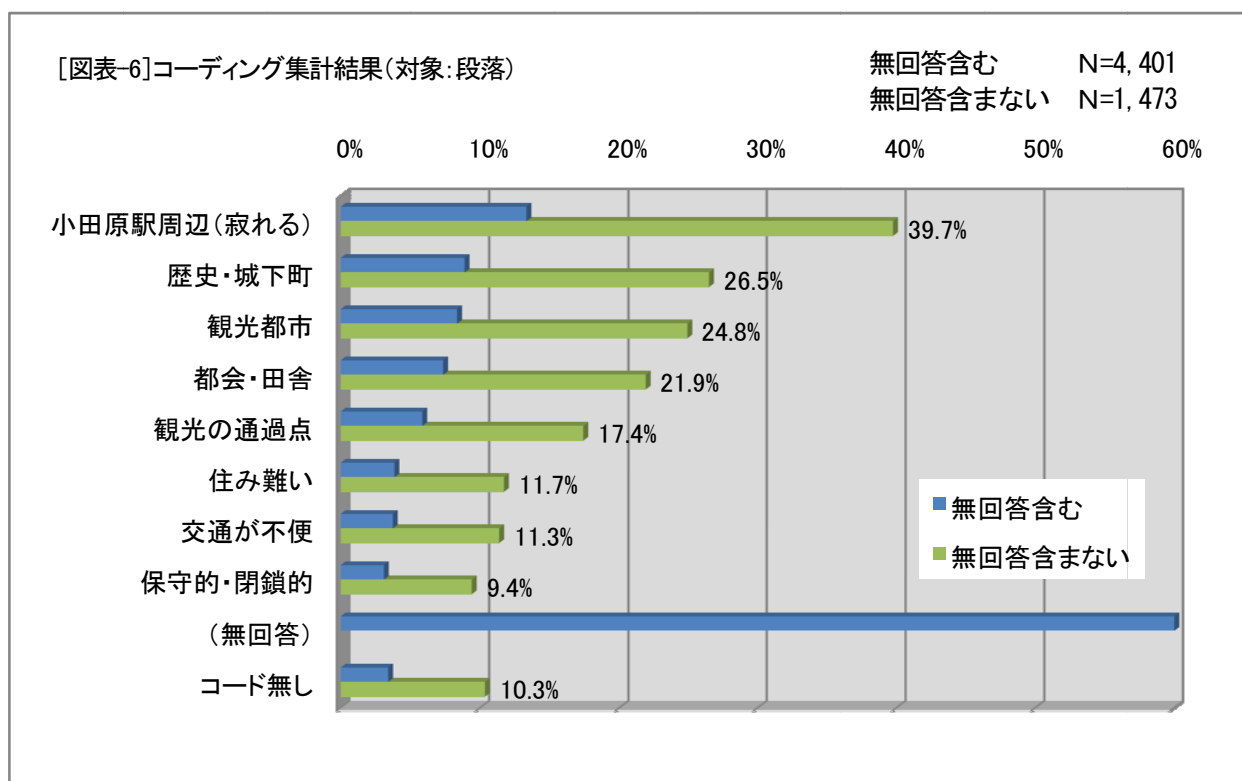


問 5 現在の小田原についてどのような都市イメージを抱いていますか、箇条書きでご自由にお書きください(悪いイメージを抽出)

- ・ 出現数が多い言葉は、「小田原駅」(258回)、「城下町」(238回)、「箱根」(149回)、「歴史」(139回)、「観光地-観光-観光都市」(計241回)といった名詞と、「中途半端」(135回)、「活気-少ない」(計237回)、「寂れる-寂しい」(計180回)といった状況を表す言葉で、「小田原駅周辺が寂れて、活気がない」、「歴史ある城下町だが活かせていない」、「中途半端な観光都市」が都市イメージとして多く記述されていることが伺えます。
- ・ 出現数が多い言葉の関係性を整理すると、「小田原駅-寂れる」、「城下町-活かす(否定)」、「中途半端-観光都市」、「観光地-通過点」、「都会-田舎(否定)」、「都市-発展(否定)」、「道路-狭い」、「保守的-古い」となっています。
- ・ 出現数が多い言葉から、回答を代表する文書を整理すると次のようになります。

- 小田原駅周辺が寂れ、活気がない
- 歴史ある城下町だが、それを活かさない街
- 中途半端な観光都市
- 都会でも田舎でもなく中途半端な街
- 箱根や伊豆の観光地に行く通過点の街
- 物価や税金が高く住み難い街
- 道路が狭く渋滞が多く、交通が不便な街
- 保守的で閉鎖的な古い考えの街

- ・ 「小田原駅周辺(寂れる)」が回答者ベースで、39.7%と最も多く記述されています。次いで、「歴史・城下町」、「観光都市」、「都会・田舎」が20%を越えています。



問6 10～20年後の小田原がどのような都市になればよいと思いますか、箇条書きでご自由にお書きください

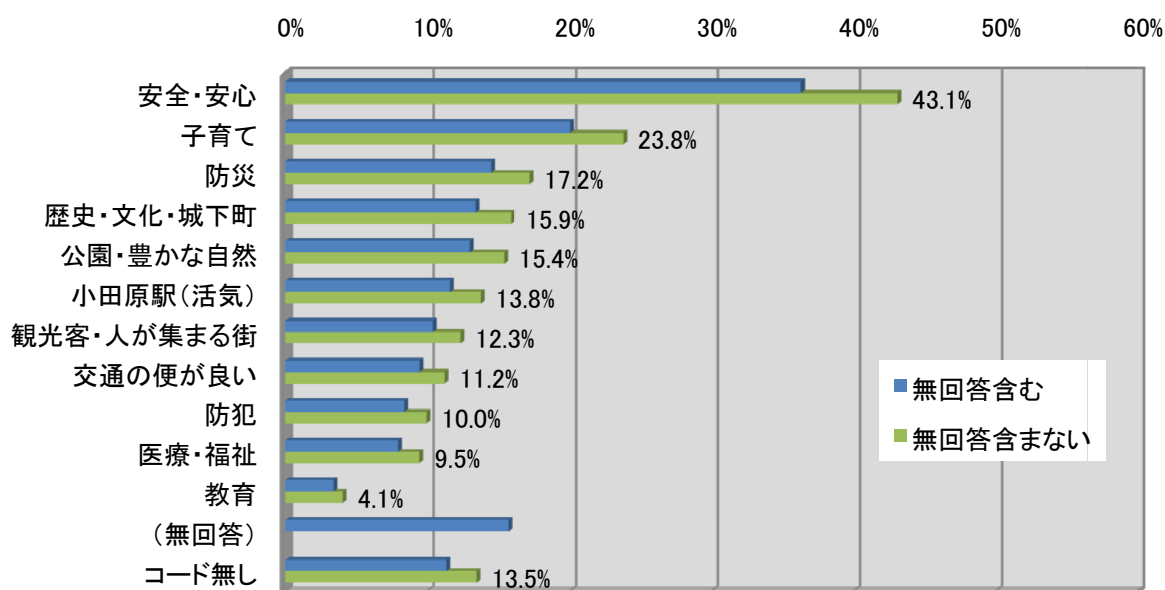
- ・ 出現数が多い言葉は、「安心-安全」(計1,236回)で、「子供-子育て」(計738回)、「災害-強い」(計789回)、「犯罪-少ない-治安」(計370回)とあわせると、主に、子育て、防災、防犯の面で「安全で安心して暮せる街」を望んでいることが伺えます。なお、問5で多く出現していた「歴史」や「観光」は比較的少ない出現数となっています。
- ・ 出現数が多い言葉の関係性を整理すると、「優しい-安心-暮せる」、「子育て-安心」、「医療-福祉-充実」、「災害-強い」、「犯罪-少ない」、「小田原駅-活気」となっています。
- ・ 出現数が多い言葉から、回答を代表する文書を整理すると次のようになります。

- 子供やお年寄りに優しい、安全で安心して暮せる街
- 子供が伸び伸びと遊べ、安心して子育てができる街
- 防災対策に優れ、地震などの災害に強い街
- 城下町としての歴史や文化を残す街
- 緑や公園が多く、豊かな自然（海・山・川）が残る街
- 小田原駅周辺が活性化した街
- 多くの観光客が訪れ、若い人が集まる街
- 道路が整備され、交通の便が良い街
- 防犯対策により、犯罪が少なく治安の良い街
- 医療（病院）や福祉（施設）が充実した街
- 教育に力を入れている街

- ・ 「安全・安心」が回答者ベースで、43.1%と最も多く記述されています。次いで、「子育て」が20%を越えています。

[図表-7]コーディング集計結果(対象:段落)

無回答含む N=4,401
無回答含まない N=3,709



問 7 小田原の魅力や誇れる点にはどのようなものがあると思いますか、箇条書きでご自由にお書きください

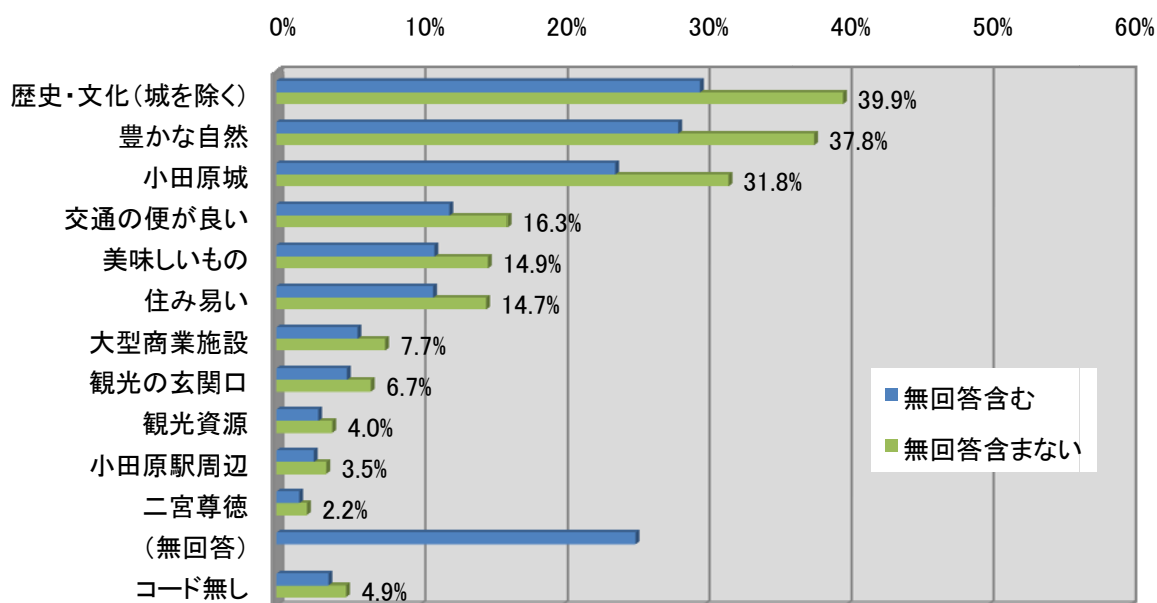
- ・ 出現数が多い言葉は、「歴史」(818回)で、「小田原城」(791回)、「文化遺産」(270回)とあわせると、「豊富な歴史文化を有する城下町」が多く記述されるとともに、特に、「小田原城」については、多くの市民のシンボルであることが伺えます。また、「海」(634回)、「自然」(564回)、「山」(469)、「気候-温暖」(計 381回)といった自然環境に係わる言葉も多く、「豊かな自然(海・山・川)に恵まれた街」も多く記述されていることが伺えます。
- ・ 出現数が多い言葉の関係性を整理すると、「豊富-歴史-文化」、「豊か-自然-緑-多い」、「小田原城」、「新幹線-交通」、「魚-かまぼこ-美味しい」、「気候-温暖-住む-易い」、「大型商業施設-充実」、「箱根-観光地-近い」となっています。
- ・ 出現数が多い言葉から、回答を代表する文書を整理すると次のようになります。

- 豊富な歴史・文化遺産を有する城下町（城を除く）
- 豊かな自然（海・山・川）に恵まれている
- 小田原城
- 新幹線が停まり都心に近く、交通の便が良い街
- 新鮮で美味しい魚、かまぼこ・干物・梅干などの名産
- 温暖な気候で住みやすい街
- 大型商業施設の充実
- 温泉や観光地に近く、箱根や伊豆の玄関口
- 観光資源がある街
- 小田原駅及びその周辺
- 二宮尊徳

- ・ 「歴史・文化(城を除く)」が回答者ベースで、39.9%と最も多く記述されています。次いで、「豊かな自然」、「小田原城」が20%を越えています。

[図表-8]コーディング集計結果(対象:段落)

無回答含む N=4,401
無回答含まない N=3,291

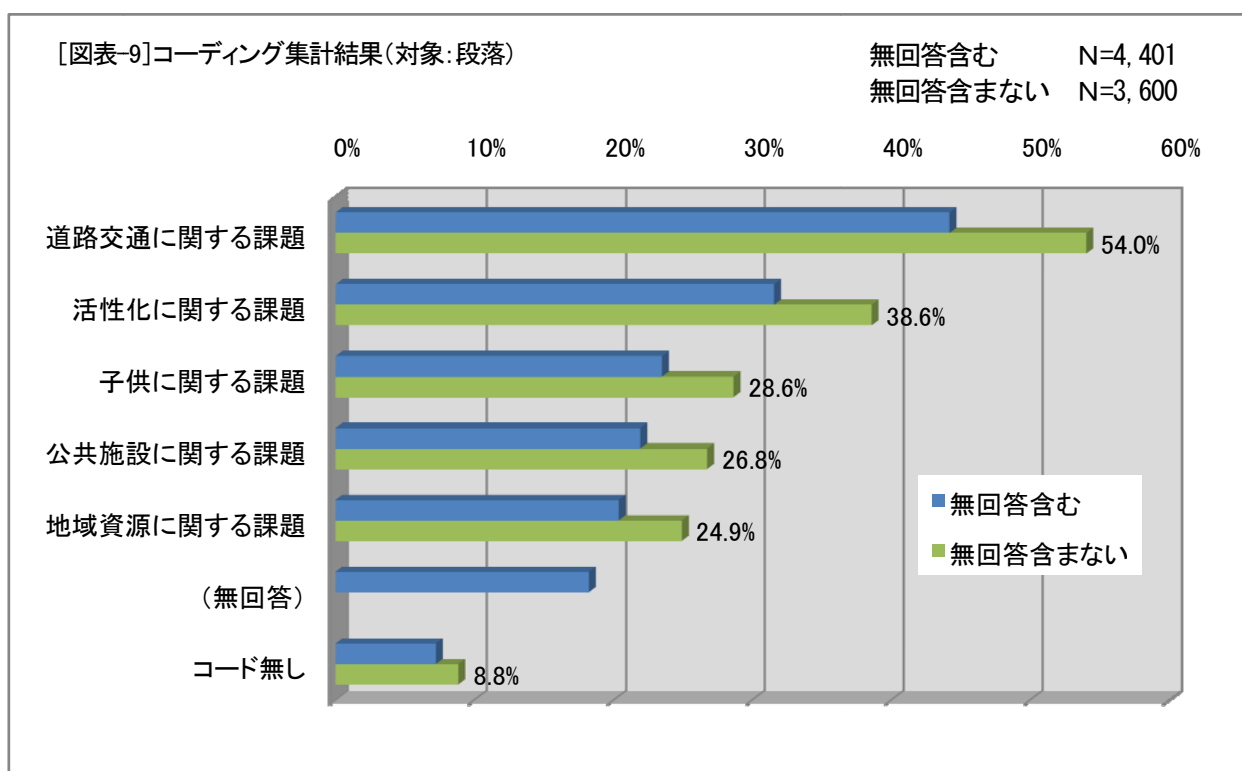


問 8 小田原のまちづくりには、現在どのような課題や改善すべき点があると思いますか、箇条書きで具体的にお書きください

- ・ 多種多様な記述となっているため、出現数が多い言葉の関係性整理は大きな括りとしています。
- ・ 出現数が多い言葉の関係性を整理すると、「鴨宮方面-順礼街道-渋滞-酷い」、「歩道-道路-狭い」、「車-交通-不便」といった道路交通に関すること、「子供-安心-遊べる-公園」といった子供に関すること、「病院-充実-学校」といった公共施設に関すること、「城下町-歴史-アピール」といった地域資源に関することになっています。
- ・ 出現数が多い言葉から、回答を代表する文書を整理すると次のようになります。

- **道路交通に関する課題**
鴨宮方面・順礼街道の渋滞が酷い／歩道や道路が狭く危険／バスを増やして欲しい など
- **活性化に関する課題**
小田原駅周辺や商店街の活性化／小田原城は魅力だが街に活気が無い／大型商業施設の集中 など
- **子供に関する課題**
子供が遊べる公園が少ない／子育て環境の改善／小児科や産科を扱う病院が少ない など
- **公共施設に関する課題**
市立病院が医師不足で不便／市民会館の建替え／学校の耐震化／公共施設のアクセスが不便 など
- **地域資源に関する課題**
小田原城や歴史・文化のアピール／緑ある公園が欲しい／小田原駅周辺に魅力がない など
- **コード無し**
まちづくりへの参加体制づくり／行政の考え方が見えない／働く場と税収の確保 など

- ・ 「道路交通に関する課題」が回答者ベースで、50.4%と最も多く記述されています。大きな括りでコーディングしているため、全てのコーディングルールで20%を越えています。



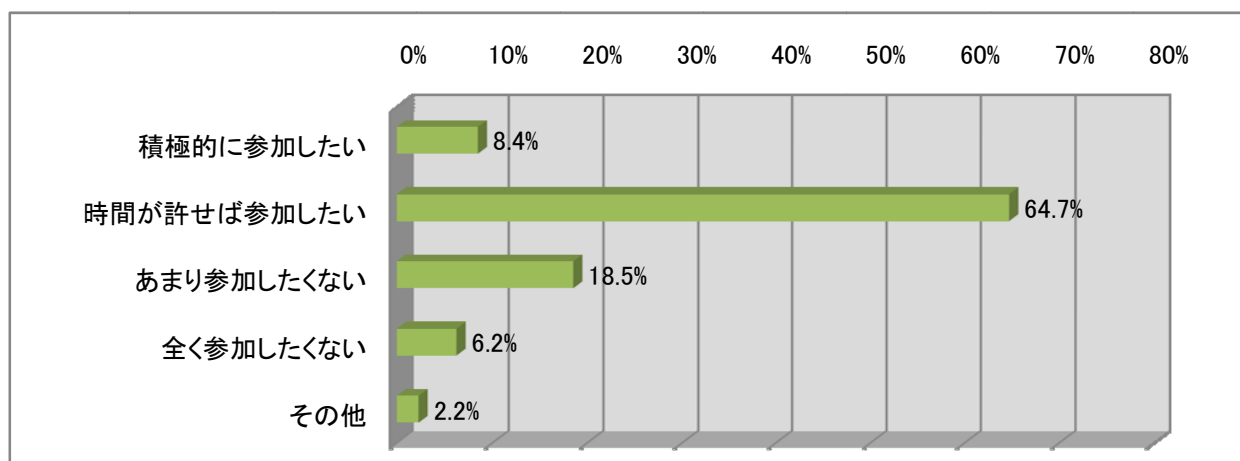
問9 あなたは、地域清掃や防犯活動などの地域活動等に参加したいと思いますか

- ① 積極的に参加したい
- ② 時間が許せば参加したい
- ③ あまり参加したくない
- ④ 全く参加したくない
- ⑤ その他

・「時間が許せば参加したい」が64.7%と最も多く、「積極的に参加したい」は8.4%となっています。

[図表-10] 地域活動への参加意向

N=4,221



問10 あなたは、今後どのような地域活動等に参加したいと思いますか、当てはまると思う項目を全て選んでください

- ① 市との協働などによる全般的なまちづくり活動
- ② 介護などの保健・福祉活動
- ③ 文化、芸術、スポーツのボランティア講師などの生涯学習活動
- ④ ボランティアガイドなどの観光振興活動
- ⑤ 自然保護、地域清掃などの環境美化・保全活動
- ⑥ 防犯、自主防災などの地域安全活動
- ⑦ 学校運営、子供会などの子どもの健全育成活動
- ⑧ どれにも参加したいとは思わない
- ⑨ その他の活動

・「美化・保全」が21.2%と最も多く、次いで、「防犯・防災」、「学校・子供」、「生涯学習」の順となっています。

[図表-11] 今後参加したい地域活動

N=6,818

